

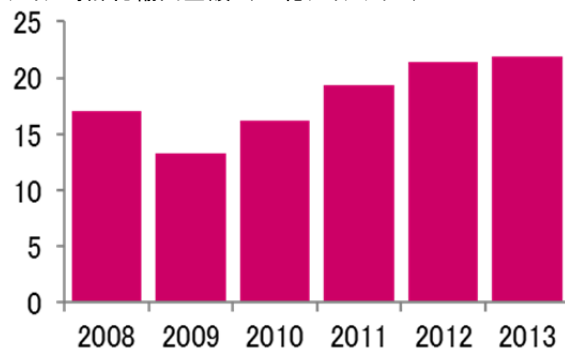


## 2013 年スイスと世界の時計産業

### スイス時計輸出

2013 年は全体として、結果は予想に沿うものである。上半期は成長が急速に鈍化し、2012 年の 1 月～6 月に比べて+0.7%の変動を記録した。時計輸出は下半期に+3.0%の増加で改善した。総輸出金額は 218 億スイスフランに達した。これは 2012 年に達成した結果を 4 億スイスフラン以上、上回り 1.9%の増加に相当する。

スイス時計総輸出金額（10 億スイスフラン）



増加率は前年並みではないが、それにもかかわらず、とても高い水準で近年の増加を確実なものにした。かなり顕著な調整で、長期的傾向が続くと期待される正常化の段階に入り、2014 年にはその状況になると思われる。2010 年以降、記録した急速な増加に関連する成長の鈍化はとりわけ比較のベースが非常に高い結果である。さらに、良い結果から香港や中国と同じくらい大きなマーケットへの輸出の減少を想定することは難しいだろう。実際に、香港と中国は前年において、明らかに成長を支え、2013 年に結果を形にすることに尽力した。

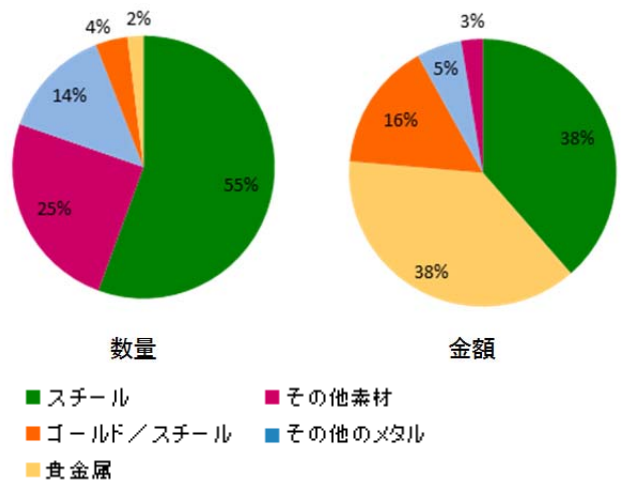
### ＜完成品の輸出＞

腕時計は 2013 年の総輸出金額の約 95%を占めた。輸出金額は 2%の増加を記録し、206 億スイスフランであった。数量では、スイスは 2810 万個輸出した。これは 2012 年に比べ、わずかに(-3.6%)100 万個の減少である。2 年続けての減少にもかかわらず、水準は過

去 10 年間の平均をかなり上回っている。これらの情勢の結果として、輸出時計の平均価格は増加し続けた。2013 年には 2012 年に比べ 5.9%の増加で 733 スイスフランであった。平均価格は 12 年で 2 倍になった。

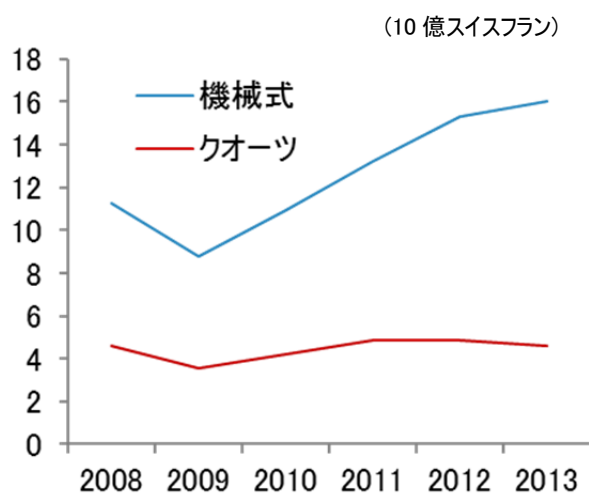
### ＜完成品素材別＞

年間を通して、スチールウォッチは+4.9%で輸出金額では増加の主要素材であった。プラチナウォッチもまた+20.5%でかなり貢献した。対照的に、ゴールドウォッチとバイメタルウォッチはそれぞれ-1.6%と-3.3%で輸出金額の減少が見られた。数量については素材の半分が減少を記録した。減少した素材の中で主に、その他メタル-11.3%とその他素材-8.4%が減少の幅が大きかった。これらの減少によりスチールウォッチ+1.0%の増加が大きな影響を与えることができなかった。



### ＜機械式とクォーツ＞

2012 年のように、クォーツ製品が後退する一方、機械式時計は上昇を記録した。機械式時計は金額で+4.5%増加しただけではなく、数量の増加によるところも大きかった。2012 年に比べて 2013 年の末には 560,000 個以上増加し+8.2%を記録した。クォーツは輸出売上高の 1/4 以下ではあるが、総輸出数量のほぼ 3/4 を占めた。クォーツは金額では 5.8%、数量では 7.3%減少した。

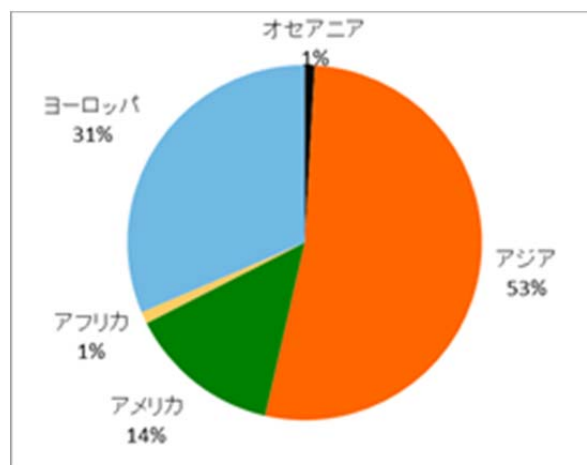


### <主要マーケット>

2013年、ヨーロッパは5.7%の増加により、結果においてポジティブな影響を及ぼした。スイス時計製品の大部分が旅行者の購入や再輸出といった形で国境を渡っている以前に、ヨーロッパはスイス時計輸出金額の31.4%を吸収した。アジアはほんのわずか-0.9%下降したが、腕時計輸出金額の半分以上52.7%を占めた。アメリカの増加率は緩やかに減速を記録したものの後半に安定化し最終結果+2.4%であった。

2013年、減少を記録したマーケットはわずかであったが、その規模のため、全体的にかなりの影響を与えた。直接輸出先の主要マーケットである香港はこの傾向を反映した。夏には最も低い水準まで落ち込み、前年比5.6%の減少で終わった。アジアマーケットでは2番目に大きく、世界的にも3位に位置する中国は最も急激に減少したひとつであり、-12.5%を記録した。世界で6位にランクしているフランスも著しいネガティブな影響を及ぼした。年間で輸出金額が9.6%の減少を記録し、その減少はほとんどの価格帯に及んだ。その結果、輸出数量は世界的な減少の半分に相当する25.4%まで急落した。フランスはとりわけ中国からの旅行者による購入の減少が明らかに見られた。

多くのポジティブな変動の中、アメリカは+2.4%で世界平均近くで維持した。上半期の減速後、下半期には増加率は安定した。



### 国別輸出結果 (100万スイスフラン)

輸出先国	輸出金額	前年度比	シェア
香港	4,125.0	-5.6%	18.9%
米国	2,239.9	+2.4%	10.3%
中国	1,446.5	-12.5%	6.6%
ドイツ	1,306.4	+9.0%	6.0%
イタリア	1,229.0	+4.6%	5.6%
その他	11,487.8	+16.0%	50.6%
<b>Total</b>	<b>21,834.7</b>	<b>+1.9%</b>	<b>100.0%</b>

フランスは別として、ヨーロッパマーケットはスイス時計産業を明るくすることに大いに貢献した。ドイツは9.0%、イタリアは4.6%、イギリスは18.2%の上昇を記録した。その他の小さなマーケットもまた、増加を記録し、基準を上回ることもあった。

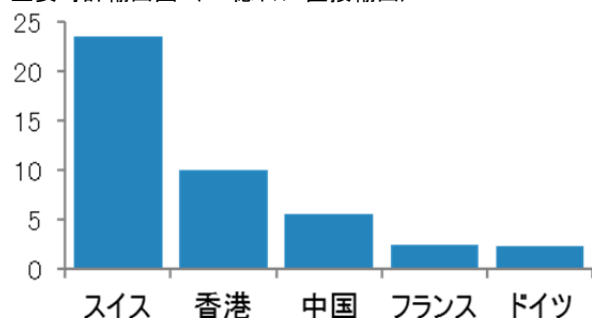
アジアでは、日本が+5.7%、シンガポールが+1.0%、そして韓国が+11.4%で2012年の水準を上回った。同様に中東では、アラブ首長国連邦が+9.2%、サウジアラビアが+6.6%の増加を記録した。



## 世界の時計輸出

ここで用いる統計結果は、主な関係国による腕時計輸出と輸入を表している。この統計情報は世界の腕時計生産の統計データではない。約 12 億個の時計と概算出来るかもしれないが、実際には製品が再輸出され 2 重統計となっている場合もあるので、輸出入の統計結果は実際より多くなっている。しかしこのデータは、明確に世界各国での影響力を反映し、各国の世界的な動向を示している。

主要時計輸出国 (10 億ドル・直接輸出)



2013 年、スイスはクロックと時計製造部門において主要輸出国であった。世界中で 236 億ドル相当を輸出した。2012 年に比べ、これはスイスフランベース (為替の影響を除く。) で 1.9% の増加に相当する。2 位に位置する香港は 3.7% の増加で 100 億ドルのクロックと腕時計製品を輸出、または再輸出した。主な出荷先はアメリカ、スイス、中国でほぼ同じ割合であった。続いてマカオ、日本であった。中国もまた、時計産業において主要な輸出国であった。7.9% の増加で輸出金額は 56 億ドルであった。中国の時計輸出は主に香港、アメリカ、日本へ出荷された。

フランスの時計輸出は主にその他のヨーロッパマーケットへの再輸出から成り、24 億ドルに上昇した。この結果、2012 年に記録した輸出金額を 7.2% 上回った。5 位にランクする、ドイツは 24 億ドル相当を輸出し、10.8% の増加であった。

### < 腕時計の輸出数量 >

輸出数量では、中国が 1 位にランクインした。2013 年、合計 6 億 3440 万個の時計が出荷された。これは前年比、4.2% の減少である。予想通り、香港の輸出数量も -6.5% 減少し 3 億 3150 万個であった。スイスも例外ではなく下降傾向にあり、3.6% の減少を記録した。

それにもかかわらず、過去 10 年間の平均を上回り、2810 万個を輸出した。

主要時計輸出国 (100 万個)

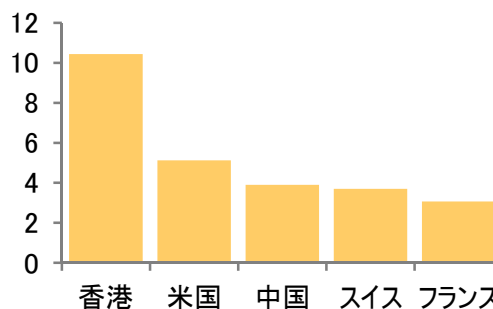
時計輸出国	数量	前年度比 %
中国	634.4	-4.2%
香港	331.5	-6.5%
スイス	28.1	-3.6%
ドイツ	18.8	+13.8%
米国	9.2	+7.3%
フランス	6.9	+7.9%

2012 年と同様に、中国から輸出された時計の平均単価は 3 ドル (輸出額) であった。2013 年、香港から輸出された時計は平均単価が 19 ドルから 21 ドルに増加した。スイスは 2012 年の平均単価 739 ドルから 791 ドルに上昇し、さらに高い平均価格で際立った。

## 世界の時計輸入

香港は世界貿易の大部分を吸収し、その一部は他のマーケットへ再輸出された。香港の時計輸入は -0.5% で 2012 年の水準と実質的に同じ 104 億ドルに達した。アメリカは 52 億ドルの時計製品を輸入した。これらの輸入は前年比 6% の増加であった。中国マーケットの減速が確認され、輸入金額は 7.9% まで落ち込み、39 億ドルの水準であった。スイスは 37 億ドルの時計と部品を輸入した。海外からの供給は輸出と同じ傾向にあり、2.1% の増加であった。フランスは輸入金額 +3.6%、31 億ドルで 5 位に入った。

主要時計輸入国 (10 億ドル)



\* ドル表記は為替変動調整後の数字を表す